

カイゼン活動の「盲点」！ 作業台・運搬台車に隠れた「ムダ」とは？ 作業ミスを根絶し「動作と運搬のムダ」を半減する 作業台のカイゼン

日時

2025年5月27日(火)

10:00~17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場

日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師

松田 龍太郎 氏
株式会社SMC 代表取締役

受講料

48,400円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】 作業台・運搬台車のカイゼンから作業品質・生産性向上につなげる考え方が掴めます。
- 【2】 作業者の動きのムダを解消し、疲れにくい作業台の幅・奥行・高さが学べます。
- 【3】 作業台の材料・部品の置き方など、事例を通じて操作性の高い作業台の作り方が掴めます。
- 【4】 構内物流を考慮した作業台の作り方など講師オリジナルの手法が学べます。

プログラム

1. まず動作と運搬のムダを知り、ムダを少なくする

- 1) ムダとは何か？作業のうちムダはどれくらいあるか？
- 2) ムダは、意識することで見えてくる
- 3) キーワードは、手元化と順序化と4定
- 4) オペレータの立場に立って、楽で働きやすい作業環境を考えてつくる

2. 作業台・運搬台車に隠れるムダを探す

- 1) 人の可動範囲を広げるために、座り作業から立ち作業にする
- 2) 部品や治工具・設備は作業順に並べ、手元化を徹底する
- 3) 作業台はコンパクトにして、歩行のムダをなくす形状にする
- 4) 異常が発見しやすく、処置や対応のしやすいしくみにする
- 5) 繰り返し性の高い標準作業にして、最小の時間で作業できるようにする
- 6) 運搬台車も作業台の一部として考える
- 7) 現場での事例紹介『組立ラインの改善案』

3. 生産性・操作性の高い作業台を考える

- 1) 人間工学(エルゴノミー)に基づいて、オペレータが作業しやすい作業台を設計する
- 2) 多品種少量生産の領域を設定し、フレキシブル性と汎用性をもたせた作業台にする
- 3) オペレータだけでなく、品質向上のため部品供給とトラブル対応の人員も設置する
- 4) ワークの高低差がなく、振り向きやしゃがみのない順序のよい流れをつくる
- 5) 部品や治工具・設備の段取り替え時間が短くできること
- 6) 物流面も考慮し、供給排出の高さの統一やセット供給なども考慮する

4. 作業台のつくり方

- 1) 作業台はユニット化し、連結や分離がワンタッチででき、キャスター付きにする

- 2) 作業台は、統一した動力源とし、ネジやナット類も統一する
- 3) ワークの高さを揃えるために、作業台に載せるユニット台の高さ調整ができる
- 4) 作業台や棚や設備などは、まず段ボールで試作してみる【ビデオ紹介】
- 5) パイプ材、アルミの棒材、穴付きのLアングルなどで作業台をつくる
- 6) ラインとしてU、C、Lなどの形状があるが、同じ作業台ユニットを使う

5. 作業台の材料・部品の置き方と“からくりの要素”の活用

- 1) 作業台に設置する付帯設備もユニット化する
例：照明、コンセント、吊り具、アンドン、部品棚、空箱返却棚、カンバン箱、ゴミ箱
- 2) コンパクトな作業台にするために、オーダー別ピッキングやセット化を考える
- 3) 手元化するために作業に邪魔にならない工夫
例：標準手持ちは1個、作業台に余分なものが置けないしくみ、吊り下げ方式
- 4) 部品と治工具をセット化した作業台ユニットの紹介
例：リュックサック方式

6. 作業台の操作性について

- 1) 左回りと右回りの決め方
- 2) 精密作業の場合のワークの高さの決め方と方法
- 3) 一人ひとりに対応して、作業台の高さが調整できる事例紹介
- 4) レイアウト変更があっても、1~2人で簡単にできる
- 5) 実際には、時間観察して作業性を比較検証していく

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

